

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.364



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2012年10月31日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

2011年度一般会計決算

子育て全体に「選択と集中」したとはとても言えない

横浜市第3回定例議会は10月30日最終日を迎え、2011年度一般会計、国民健康保険等23件の特別会計決算の議決が行われ、自民、民主、公明、みんなの党などの賛成多数で

すべて認定されました。採決に先立ち、私・大貫が日本共産党を代表して一般会計決算認定の反対討論を行いました。

構造改革路線と同じ立場の 「選択と集中」

私・大貫は、「一般会計決算全体では、市長のいう『選択と集中』が前中田市長の新自由主義に基づく構造改革路線と同じ立場で行われており、市民の目線とは大きくかけ離れたものと言わざるを得ない」として、市民生活を守る立場から批判すべき点を指摘しました。

(2面に続く)



Twitter facebook ご覧ください

(1面から続く)

待機児解消とともに 保育の質を高く

林文子市長が2011年度予算の基本施策の第一に掲げた「子育て安心社会の実現」について、私・大貫は、待機児童数の減少や横浜保育室の保育料軽減助成は評価する一方、定員外入所などの詰め込みは保育環境を悪化するものだと指摘。待機児童解消のために引き続き認可保育所を増設するとともに、保育の質を高く保つことが求められ、その観点からも市立保育所の民営化をすすめたことは問題だと批判しました。

遅れている子育て施策

子育てについて、市立小中学校のエアコン設置は評価しましたが、中学校給食の未実施、小学一年生にとどまった35人数学級、正規教員不足による「臨任」雇用の常態化、小児医療費の無料化の遅れなど、「子育て全体に予算を『選択と集中』したとはとても言えない」と厳しく指摘しました。

問題多い

自由社・育鵬社版教科書

育鵬社版の公民と歴史教科書が採択されことに関して、私・大貫は「同教科書は教科書取扱審議会で評価が低かったにもか

かわらず、この両科目に限って、6人の教育委員中4人が多数決で押し切ったことは、到底、市民の理解を得られるものではない」と批判。さらに、自由社版歴史教科書の年表盗作や記述の間違いが発覚したにも関わらず市教育委員会として何ら訂正もせず放置してきたことについて、「教育としてあってはならない」と指摘。「即刻、回収し、別の教科書を配布すべき」と要求しました。

その他の主な批判点

- 敬老パスの平均11%の値上げ、国保料の3年連続しての値上げ、住民税や国民健康保険料等の強権的な滞納処分
- コスト削減ありきの公園プール・野外活動施設などについてのあり方検討委員会の設置
- きわめて不十分な中小企業振興対策、横浜経済の発展に寄与しない企業立地促進条例による大企業支援
- 大都市制度推進室を13人の体制で設置したが、行政が遠すぎて身近な問題が解決しないという問題点などを解消するものではない。
- 温暖化対策統括本部を設置したが、エネルギー政策は自主性のない消極的なもので、原発ゼロと設定し、再生可能エネルギーの設置目標を定めていない。



関東大震災時の朝鮮人虐殺問題

歴史の書き換えを許してはなりません

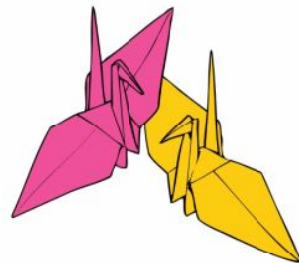
今年度、中学一年生に配布した横浜市の教科書副読本「わかる横浜」2012年度に記述されている、関東大震災の時に朝鮮人が「虐殺」されたという表現が、自民党の圧力で「殺害」に変更されることになりました。

この経緯は、6月25日付け産経新聞が「わかる横浜」2012年度版の関東大震災時の朝鮮人など虐殺事件の記述について、ノンフィクション作家の工藤美代子氏を登場させて、「多様な考え方がある中で」「一方的な意見だ」と批判しました。この記事をもとに、7月19日の市議会こども青少年・教育常任委員会青葉区選出の横山議員が、「虐殺」という表現は問題だと市教育委員会事務局を追求。これに対し、同事務

局は今年度版を回収し、来年度、新2年生から、中学生の心身の発達段階を考慮して「虐殺」という語句を「殺害」に置き換えることを表明しました。

関東大震災時に東京・神奈川・埼玉・千葉・群馬の各地で、武器を持った多数者が少数者に暴行を加えたあげくに殺害する「虐殺」が行われたことは、膨大な証言と研究の蓄積で明らかになっています。

歴史教科書問題に関わる市民から、「未来を誤らないためには、歴史の痛苦の教訓を引き継ぐことは絶対に必要」「子どもたちに歴史の真実を伝える副読本を」という声が、日本共産党市議団に寄せられています。



“アジア平和の響き” 盛会



青葉台地域九条の会6周年記念“アジアの平和の響き”が29日、青葉台駅前のフィリアホールで開かれました。

小森陽一東大大学院教授(写真左)の「憲法九条と東アジアの平和を語る」と題する講演を聞き、中国琵琶奏者曹さん(右)の中国、台湾、沖縄、日本をつなぐ演奏に酔いしれました。350人を超える参加者で、盛会でした。



美しが丘5丁目東急電鉄110戸マンション建設工事 トンネルに影響はないのか心配です

美しが丘5丁目で東急電鉄110戸マンション建設のための宅地造成が始まったばかりなのに、突然、工事が1ヶ月近くストップしています。一方、工事現場のすぐそばにある田園都市線あざみ野駅とたまプラーザ駅の間のトンネルで、足場を使用した本格的な調査工事が、10月27日～11月1日の深夜に行われています。

東急電鉄は、「社内の安全基準を超える数値が出たので」調査工事を行っているとしているだけで、調査の対象は何で、なぜ基準を超える数値が出たのかの説明はありません。造成工事と因果関係はないのでしょうか。

マンション建設計画では、今後一日100台近いダンプカーが渡る工事用仮橋をトンネルの上につくる予定ですが、トンネルへの影響は本当はないのでしょうか。



マンション建設現場(左上)と、工事の影響が心配されるトンネル(右下) = 10月29日撮影

東急電鉄は「目に見えて危ないものではない。劣化する前兆が出た。これにより仮橋を見直すとか、トンネルの処置はしない。(造成工事の)再開は未定」と訳のわからないことを言っています。

造成工事と関係ないなら、なぜ工事を無期限で中止しているのかわかりません。ことは田園都市線の事故に繋がりがかねない重大事項です。東急は今回の事態の全てを住民に情報公開をすべきです。



ミジンコの独り言 ここのところ急に気温が下がり、秋めいてきた。公園では、木々の色が変わりかけ、秋の柔らかい日差しを浴びて、幼児をつれた親子や高齢者がくつろいでいた。富士山の白い帽子も、雨のたびに大きくなる。これから冬至に向けて陽は短くなるが、秋の夜長は何をして楽しもうか？(M)